

第5節 健康増進課

〔総括概要〕

健康増進課の主な事業は、救急医療対策事業、保健福祉センター及び健康福祉センターの管理運営、予防接種事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業、健康増進計画推進事業、健康診査事業、健康づくり事業、すこやか子育て相談室事業、妊産婦健康診査事業、母子保健事業である。

救急医療対策事業では、初期救急医療体制及び二次救急医療体制の確保に努めるとともに、休日歯科診療を実施した。また、市有施設に配置した自動体外式除細動器（AED）を適切に管理した。

保健福祉センター及び健康福祉センターの管理運営では、栃木保健福祉センター及び藤岡保健福祉センターは直営で行い、また、大平健康福祉センター、岩舟健康福祉センター及び北部健康福祉センターは指定管理者に管理運営を委託し行った。

予防接種事業では、感染症予防及びまん延防止のため、乳幼児等の各種予防接種、高齢者のインフルエンザ及び肺炎球菌感染症予防接種を実施し、任意接種の小児インフルエンザ、おたふくかぜについて接種費用の助成を行った。

また、国の追加的対策事業として、対象男性に風しんの抗体検査及び予防接種の受診勧奨を行ったほか、妊娠を希望する女性及び配偶者等を対象に風しん抗体検査、予防接種、麻しん風しん混合予防接種を実施した。

その他、スマートフォン等で接種間隔錯誤や接種忘れの防止が確認できる「栃木市すくすくナビ」アプリを提供した。

新型コロナウイルスワクチン接種事業では、下都賀郡市医師会等の関係団体と連携し、協力医療機関や高齢者施設等における個別接種、公共施設等を会場とした市集団接種により接種を進めた。

健康増進計画推進事業では、対面での普及啓発の場が減少したため、コロナ禍における健康づくり情報の発信を動画配信で行った。

健康診査事業では、集団検診での基本健診と各種がん検診等実施のほか、個別検診では子宮がん、乳がん、歯周病検診、高齢者歯科口腔健診及び口腔がん検診を実施した。

また、受診券等を個人別にまとめた「けんしんパスポート」及び検診の実施方法を記載した「けんしんガイドブック」を各世帯に郵送したほか、検診受診の意識を高めるため「健康マイレージ事業」を実施するなど、受診率向上に努めた。

健康づくり事業では、生活習慣病の発症・重症化予防のため、特定保健指導や運動、栄養等に関する相談及び健康教育事業を実施した。

すこやか子育て相談室事業では、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、母子健康手帳交付及び面接、生後2週間目全戸電話相談、産後ケア、産前産後ヘルパー派遣事業等を実施した。更に、発達障がい、虐待、DV、不登校など複合的な課題を抱える家庭に対し、関係機関との連携を図るため、すこやか子育てサポート会議や妊産婦乳児虐待予防会議を実

施した。

妊産婦健康診査事業では、安心安全に妊娠期を過ごし、出産を迎えるとともに、産後の母子の心身の状態を把握するために経済的な支援を含めた、妊産婦健康診査、妊産婦歯科健康診査を実施した。

母子保健事業では、母親及び乳幼児、児童生徒の健康の保持増進を図るとともに、子育て期の孤立予防や不安の軽減を図るため、乳幼児健康診査、各種教室や相談、訪問指導、また小・中学校と連携した思春期保健教育を行ったほか、発達障がい等の早期発見、発達・育児支援を目的に乳幼児発達相談を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策室は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、令和2年4月10日、保健福祉部内に新たに設置された組織であり、今年度より健康増進課の課内室に再編された。

新型コロナウイルス感染症対策室の主な事業は、新型コロナウイルス感染症に関しての感染拡大防止対策事業である。感染拡大を可能な限り抑制し、市民の生活及び地域経済への影響が最小となるよう情報発信、啓発を行ったほか、感染拡大のリスクが高い施設等へのPCR検査を実施した。

健康医療係

1 市民健康まつり開催事業

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

2 岩舟健康福祉まつり開催事業

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

3 各地域での健康啓発事業

各地域におけるイベントにおいて健康啓発を行った。

(1) 第28回ふれあい健康福祉まつり (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

(2) ど田舎にしかた祭り

・実施日 12月4日(土)

・会場 道の駅にしかた西側の田んぼ

実施内容	設置数(枚)
健康啓発チラシ設置	100

4 献血推進事業

血液製剤の安定供給確保のため、献血事業を行った。

実施日数 (日)	受付 (人)	200ml献血 (人)	400ml献血 (人)	献血者計 (人)	不適格者 (人)
3	338	15	311	326	12

5 骨髄移植ドナー支援事業

骨髄又は末梢血管細胞を提供した方（ドナー）の負担を軽減し、骨髄移植の推進及びドナー登録者の増加を図るため、ドナーとその方の勤務する事業所に対し、助成金を交付した。

・交付実績（単位：件）

ドナー	事業所
5	4

6 保健福祉センター利用状況（利用延べ人数）

(1) 栃木保健福祉センター

（単位：人）

区分	大会議室	検診ホール	集会室	その他	合計
利用者数	605	28,041	548	10,382	39,576

(2) 藤岡保健福祉センター

（単位：人）

区分	会議室	検診ホール	調理実習室	合計
利用者数	8,965	9,130	214	18,309

7 大平健康福祉センターゆうゆうプラザ

大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」の管理運営を、いすゞビルメンテナンス株式会社に委託（指定管理）し、実施した。

(1) 利用状況

・年度別利用者数

（単位：人）

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	182,686	26,357	31,446

・開館日数 284日

・1日平均入場者数 110.7人

・月別内訳

（単位：人）

区分 月別	風呂	トレーニングルーム	大会議室	小会議室	大・小会議室併用	研修室1	研修室2	多目的ホール	母子指導室	調理実習室	総合計	開館日数(日)
4	0	1,230	18	0	148	22	0	255	143	0	1,816	26
5	289	1,198	0	0	160	38	111	233	155	0	2,184	26
6	534	996	92	91	605	130	492	768	273	0	3,981	26
7	0	896	105	105	960	168	806	1,105	286	0	4,431	27
8	0	0	38	37	300	37	303	526	235	0	1,476	14
9	0	0	88	87	31	87	0	380	275	0	948	13

10	0	933	112	82	346	82	3	500	309	0	2,367	27
11	0	963	134	113	197	210	4	381	293	8	2,303	25
12	299	980	164	97	248	98	3	358	337	26	2,610	25
1	1,638	1,028	74	74	74	0	77	255	259	12	3,491	24
2	1,198	912	47	34	11	11	38	206	192	0	2,649	24
3	1,454	1,183	12	9	111	0	0	219	202	0	3,190	27
合計	5,412	10,319	884	729	3,191	883	1,837	5,186	2,959	46	31,446	284

(2) 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ア 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したもの

- ・歌謡ショー
アマチュア歌手を中心とした歌謡ショー
- ・芸能・舞踊
ジャズ演奏、民謡や舞踊の伝統芸能ショー
- ・カラオケ
カラオケ大会等
- ・トレーニング自主事業

8 岩舟健康福祉センター遊楽々館

岩舟健康福祉センター「遊楽々館」の管理運営を、宮ビルサービス株式会社・株式会社日本理化シェアードソリューションズ共同事業体に委託（指定管理）し、実施した。

(1) 利用状況

- ・年度別利用者数 (単位：人)

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	106,614	26,842	52,247

- ・開館日数 275日
- ・1日平均入場者 189.9人
- ・月別内訳 (単位：人)

区分 月別	風呂	トレーニングルーム	第1第2会議室	検診室	ボランティア室	親子室	調理実習室	健康相談室	生活相談室	総合計	開館日数(日)
4	2,150	828	8	30	0	4	7	0	12	3,039	26
5	2,147	800	18	50	0	3	7	0	8	3,033	27
6	1,952	778	1,695	1,722	0	3	7	0	5	6,162	25
7	2,059	796	2,478	2,467	0	0	8	0	6	7,814	26
8	0	0	1,842	1,849	0	0	0	0	2	3,693	10
9	0	0	888	884	0	0	0	2	7	1,781	10

10	1,867	840	645	632	0	3	8	0	18	4,013	27
11	2,579	909	609	655	3	4	7	0	9	4,775	26
12	2,686	833	561	687	0	2	23	0	7	4,799	24
1	2,535	821	535	564	0	15	0	0	2	4,472	25
2	2,332	881	718	740	0	0	8	0	1	4,680	24
3	2,318	907	306	429	0	6	12	0	8	3,986	25
合計	22,625	8,393	10,303	10,709	3	40	87	2	85	52,247	275

(2) 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ア ヨガ教室

体を鍛えながら、楽しく運動をするヨガ教室

開催回数 29回

参加延べ人数 365人

イ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したもの

・歌謡ショー

アマチュア歌手を中心とした歌謡ショー

・伝統芸能・舞踊

太鼓、尺八等演奏、舞踊の伝統芸能ショー

・カラオケ

カラオケ大会等

・演奏会

バンドの演奏会

・郷土芸能祭り

郷土芸能祭りで円仁太鼓やお囃子の演奏

・クリスマスチャリティーバザー

9 北部健康福祉センターゆったり～な

北部健康福祉センター「ゆったり～な」の管理運営を、株式会社フクシ・エンタープライズに委託(指定管理)し、実施した。

(1) 利用状況

・年度別利用者数（単位：人）

年 度	令和2年度	令和3年度
利用者数	7,724	20,852

・開館日数 261日

・1日平均利用者数 79.8人

・月別内訳

(単位：人)

区分 月別	風呂	トレーニングルーム	歩行用プール	会議室	多目的ホール	相談室	和室	調理実習室	プレイルーム	総合計	開館日数(日)
4	31	181	189	16	13	0	0	0	7	437	25
5	91	398	478	6	320	0	0	0	77	1,370	27
6	82	434	631	136	2,193	0	0	0	92	3,568	26
7	80	555	725	26	1,700	3	0	0	66	3,155	26
8	0	0	0	10	1,020	10	0	0	0	1,040	4
9	0	0	0	60	66	62	0	0	0	188	3
10	88	575	737	16	635	10	0	0	46	2,107	27
11	94	689	705	16	509	10	0	0	40	2,063	26
12	102	750	589	6	12	2	0	22	68	1,551	23
1	101	768	563	71	156	0	0	0	18	1,677	24
2	116	802	582	0	302	0	0	0	8	1,810	24
3	103	832	653	0	290	0	0	0	8	1,886	26
合計	888	5,984	5,852	363	7,216	97	0	22	430	20,852	261

(2) 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ア 歩行用プールで水中ウォーキングのレッスン

開催回数 92回

参加延べ人数 113人

イ フロア教室

開催回数 48回

参加延べ人数 153人

ウ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したもの

- ・プレイルームへのプレイリーダー配置

10 救急医療対策事業

(1) 初期救急医療

栃木地区急患センター

- ・管理運営 一般社団法人 下都賀郡市医師会（指定管理者）

ア 休日・夜間診療

- ・診療時間 休日（日曜日）……………午前9時～午後9時 内科
午後9時～午後5時 外科
休日（祝日・年末年始）…午前9時～午後9時 内科・外科
平日（月曜日～土曜日）…午後7時～午後10時 内科

日数(日)	延べ患者数(人)
365	2,920

イ 小児救急医療

・診療時間 日曜日 午後6時～午後9時

日数（日）	延べ患者数（人）
52	296

(2) 二次救急医療

ア 病院群輪番制病院運営等補助事業

病院群輪番制に参加する2病院（とちぎメディカルセンターしもつが、獨協医科大学病院）に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

利 用 施 設	日数（日）	延べ患者数（人）
病院群輪番制病院(2病院)	365	7,647

栃木医療圏の救急告示病院（藤沼医院、多島外科胃腸科、とちぎメディカルセンターとちのき）に対し、二次救急を確保するため、救急車受入件数に応じ補助金を交付した。

利 用 施 設	件数（件）
救急告示病院（3施設）	320

イ 小児二次救急医療

小児二次救急医療機関に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

利 用 施 設	日数（日）	延べ患者数（人）
獨協医科大学病院	365	1,467

11 地域医療対策基金積立事業

（単位：円）

令和2年度末現在高	積立金額	繰出金額	令和3年度末現在高
20,365,296	0	0	20,365,296

12 とちぎメディカルセンター運転資金貸付事業

- ・貸付名称 とちぎメディカルセンター運転資金貸付金
- ・用 途 とちぎメディカルセンターが開設するしもつがの運営に要する運転資金
- ・貸付金額 5億円
- ・貸付期間 4月1日から3月31日

13 自動体外式除細動器（AED）貸出事業

市内で開催される各種行事において、参加者が心肺停止状態に陥った際の救急救命活動に備えるため、主催する団体へ自動体外式除細動器（AED）の貸出しを行った。

- ・貸出申請件数 11件

14 自動体外式除細動器（AED）整備事業

市内公共施設及びコンビニエンスストアに設置されているAEDを適切に管理した。

- ・市内公共施設（貸出用含む） 92台
- ・市内コンビニエンスストア 10台

15 休日歯科診療実施事業

ゴールデンウィークやお盆、年末年始の歯科医院が休診となる長期休暇中でも、歯科救急患者が診療を受けることができるよう、休日歯科診療を実施した。

- ・一般社団法人 下都賀歯科医師会による市内歯科医院の輪番制

実施期間（日数）	受診者数（人）
5月2日～5日（4日間）	14
8月13日～15日（3日間）	19
12月30日～1月3日（5日間）	26

予防係

1 予防接種事業

(1) 定期接種

ア ヒブ感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後2月から生後60月に至るまでの間にある者
- ・回数（開始月齢により異なる。）
 生後 2月から 7月に至るまで：4回（初回3回、追加1回）
 生後 7月から12月に至るまで：3回（初回2回、追加1回）
 生後12月から60月に至るまで：1回

・接種状況

	勸奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
初回 1回目	819	800	97.6
初回 2回目		797	97.3
初回 3回目		822	100.3
追加		830	101.3

イ 小児の肺炎球菌感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後2月から生後60月に至るまでの間にある者
- ・回数（開始月齢により異なる。）
 生後 2月から 7月に至るまで：4回（初回3回、追加1回）
 生後 7月から12月に至るまで：3回（初回2回、追加1回）
 生後12月から24月に至るまで：2回
 生後24月から60月に至るまで：1回

・接種状況

	勸奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
--	-----------	----------	--------

初回 1回目		799	97.5
初回 2回目	819	796	97.1
初回 3回目		822	100.3
追加	866	832	96.0

ウ B型肝炎

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 1歳に至るまでの間にある者
- ・回数 3回
- ・接種状況

	勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1回目	819	796	97.1
2回目		803	98.0
3回目		782	95.4

エ BCG (結核)

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 1歳に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
819	844	103.0

オ 四種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者
- ・回数 1期初回 20日以上の間隔で3回
1期追加 1期初回終了後、約1年～1年半経過した時期に1回
- ・接種状況

	勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1期初回 1回目	819	800	97.6
1期初回 2回目		824	100.6
1期初回 3回目		837	102.1
1期追加		870	106.2

カ 急性灰白髄炎 (ポリオ)

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間の、ポリオワクチン接種の必要回数 (4回) を終了していない者

(生ポリオ2回終了した者は除く)

- ・回数 1期初回 20日以上の間隔をおいて3回
1期追加 1期初回終了後、約1年～1年半経過した時期に1回
- ・ポリオは四種混合に含まれているため、接種が必要となる場合は、三種混合を受けていた場合のみ
- ・接種状況

	被接種者数 (人)
1期初回 1回目	0
1期初回 2回目	0
1期初回 3回目	0
1期追加	2

キ 麻しん・風しん (混合)

(ア) 1期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
866	814	93.9

(イ) 2期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 5歳～7歳未満の者で、小学校就学の始期に達する日の1年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者 (幼稚園・保育園等の年長児相当)
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1,142	1,065	93.2

ク 水痘

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後12月から生後36月に至るまでの間にある者
- ・回数 3月以上の間隔をおいて2回
- ・接種状況

	勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1回目	866	785	90.6
2回目		814	93.9

ケ 日本脳炎

(7) 1期初回

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後6月から生後90月に至るまでの間にある者及び予防接種法で定める特例対象者
- ・回数 6日以上の間隔で2回
- ・接種状況

	勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1回目	1,014	967	95.3
2回目	1,014	960	94.6

(イ) 1期追加

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 1期初回接種終了後おおむね1年経過した生後90月未満の者及び予防接種法で定める特例対象者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
0	702	— ※

- ・勧奨対象者 日本脳炎ワクチン不足のため勧奨を差し控える

※令和3年度の勧奨対象者はいないが、前年度以前に予診票を送付したものがいるため被接種者の実績がある

(ウ) 2期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 9歳以上13歳未満の者及び予防接種法で定める特例対象者で、1期接種3回を終了している20歳未満の者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
0	908	— ※

- ・勧奨対象者 日本脳炎ワクチン不足のため勧奨を差し控える

※令和3年度の勧奨対象者はいないが、前年度以前に予診票を送付したものがいるため被接種者の実績がある

コ 二種混合 (ジフテリア・破傷風)

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 11歳以上13歳未満の者 (小学校6年生)

- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,320	1,095	82.9

サ ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 小学校6年生から高校1年生相当年齢の女子

※対象者へ案内通知を送付した。

- ・回数 3回
- ・接種状況

	被接種者数（人）
1回目	226
2回目	195
3回目	140

シ ロタウイルス感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施

(ア) 1価ワクチン

- ・対象 生後6週から生後24週までの間にある者の希望者
- ・回数 4週間以上の間隔をおいて2回

(イ) 5価ワクチン

- ・対象 生後6週から生後32週までの間にある者の希望者
- ・回数 4週間以上の間隔をおいて3回
- ・接種状況

		勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）
1価	1回目	819	743
	2回目		740
5価	1回目		43
	2回目		42
	3回目		48

- ・接種率 1回目 95.9%
- 2回目 95.4%

ス 高齢者インフルエンザ

- ・実施期間 10月1日～2月28日
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 ①65歳以上の希望者
②60歳から65歳未満の者であって、心臓・腎臓・呼吸器の機能に自

己の身の日常生活行動が極度に制限される程度の障がいをもつ者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいをもつ者で、接種を希望する者

- ・回数 年度内1回
- ・助成額 3,500円
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
50,237	30,499	60.7

（対象者数は65歳以上の人数）

セ 高齢者の肺炎球菌感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象
 - ①年度末年齢65歳の希望者
 - ②接種時に60歳から65歳未満の者（高齢者インフルエンザと同じ）
 - ③年度末年齢70、75、80、85、90、95、100歳の希望者
- ※過去に接種歴のある者は対象外
- ・回数 生涯1回
- ・助成額 5,700円
- ・接種状況

(7) 対象者中①に該当する者

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
2,160	1,124	52.0

(イ) 対象者中②及び③に該当する者

被接種者数（人）
108

ソ 風しん追加的対策

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施、集団検診・職場検診で集団実施
- ・対象 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日に生まれた男性で、抗体検査及び予防接種を受けたことがない者
- ・回数 抗体検査、予防接種ともに生涯1回
- ・実施状況

	勧奨対象者数（人）	実施数（人）	実施率（％）
抗体検査	15,181	1,892	12.4
予防接種		512	3.3

(2) 任意予防接種

ア 小児インフルエンザ

- ・実施期間 10月1日～2月28日
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施

- ・対 象 生後6月から小学校2年生までの小児の希望者
- ・回 数 年度内に2回まで
- ・助 成 額 1回あたり2,500円
- ・延べ被接種者数 8,828人

イ おたふくかぜ

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 生後12月から小学校就学前の小児の希望者
- ・回 数 生涯2回
- ・助 成 額 3,600円
- ・延べ被接種者数 1,319人

(3) 風しん予防対策事業

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 次のいずれかに該当する方
 - ①妊娠を希望している女性およびその配偶者
 - ②妊娠している女性の配偶者

ア 風しん抗体検査

- ・回 数 1回
- ・助 成 額 2,000円
- ・受診者数 26人

イ 風しん予防接種

- ・回 数 1回
- ・助 成 額 3,000円
- ・被接種者数 7人

ウ 麻しん風しん混合予防接種

- ・回 数 1回
- ・助 成 額 5,000円
- ・被接種者数 126人

2 とち介の予防接種ナビ（すくすくナビ）事業

- ・登録者数 5,690人

3 新型インフルエンザ等対策事業

新型インフルエンザ等が大流行した場合に必要な備蓄品の管理及び補充

4 新型コロナウイルスワクチン接種事業

(1) 接種実施期間

実施開始の時期は、下記のとおりであり、令和4年3月31日現在、同年9月30日までが事業期間とされている。

- ア 初回接種（1・2回目接種）
 - ・16歳以上 令和3年2月から開始
 - ・12歳から15歳 令和3年6月から開始
 - ・5歳から11歳 令和4年3月から開始

- イ 追加接種（3回目接種）
 - ・18歳以上 令和3年12月から開始
 - ・12歳から17歳 令和4年3月から開始

(2) 接種方法

- ア 個別接種
 - ・市内協力医療機関
 - ・高齢者入所施設等の入所・通所施設

- イ 市集団接種

医師会、薬剤師会等に所属する医療従事者の協力及び専門業者への委託により、市が実施主体となり、会場を設営し、集団接種を実施した。

 - ・保健福祉センター（栃木、藤岡）及び健康福祉センター（大平、北部、岩舟）
 - ・栃木市ワクチン集団接種会場（大平カインズモール内）
 - ・実施状況（接種回数は本市住民登録者以外の接種、予診のみも含む）

	実施期間	実施回数（回）	接種回数（回）
初回接種 （1・2回目接種）	令和3年5月22日 ～11月26日	204	79,688
追加接種 （3回目接種）等	令和4年1月16日 ～3月30日	55	20,760

- ウ その他
 - ・国・県が実施する大規模接種
 - ・職域接種

(3) 接種状況

- ア 初回接種（1・2回目接種）
 - ・対象者数 147,697人
 - ・接種回数 258,924回（1人の対象者あたり、原則2回接種）
 - ・接種率 87.2%（2回目接種者 128,860人）

- イ 追加接種（3回目接種）
 - ・対象者数 128,860人
 - ・接種回数 62,317回（1人の対象者あたり、1回接種）
 - ・接種率 48.4%

(4) 接種証明書の発行状況

ワクチン接種の事実を証明するものとして、国が示した様式により接種証明書の発行を行った。また、マイナンバーカード及びスマートフォンのアプリを用いて取得できる仕組みが国により構築された。

	件数

窓口発行（紙の証明書）	755
アプリによる取得	3,784

健康づくり係

1 健康増進計画推進事業

(1) 重点領域の推進

6つの重点領域（①栄養・食生活②身体活動・運動③喫煙④こころの健康⑤歯と口の健康⑥健康診査・検診）ごとに、ライフステージ別、関係機関別に取り組を行い、関係機関と連携し健康づくりを推進した。

ア 関係機関

健康増進計画推進部会員（保健医療、福祉、教育関係団体、公募による者等）及び庁内ワーキング構成員

イ 主な取組

- ・脳卒中予防に関する出前講座の実施、普及啓発
- ・野菜摂取促進のための動画を作成し配信
- ・季節毎に野菜を使ったレシピを作成し、市内直売所等に設置
- ・食生活改善推進員協議会活動の推進
- ・とちぎハート体操の作成と動画配信
- ・ちょこっとウォーク～スニーカービズ～の実施
- ・妊婦や未成年に対する受動喫煙を無くすための普及啓発、ポケットティッシュを作成し配布
- ・禁煙相談機関の周知
- ・こころの健康相談、こころの健康サポーター研修会等の実施
- ・歯周病予防の動画を作成し配信、出前講座の実施
- ・健康診査・検診の実施

ウ 健康増進計画推進部会及び庁内ワーキング合同会議

重点6領域のうち、「栄養・食生活」「健康診査・検診」に関する取組について、栃木市健康増進計画推進部会員、庁内ワーキング推進員と検討し取り組んだ。

・実施内容

月日	内容
第1回 8月 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・「栄養・食生活」野菜摂取促進のレシピの作成と普及啓発状況の確認 ・「健康診査・検診」について意見収集
第2回 2月 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・「けんしんパスポート」「けんしんガイドブック」についての意見収集（書面開催後） ・各部会員を訪問し、各団体のコロナ禍の状況確認と、部会全般についての意見収集

(2) 健康都市宣言の普及啓発

「あったかもちぎ健康都市宣言」の周知のため、各総合支所や公民館へのパネルの設置、懸垂幕やのぼり旗の設置、子育て世代への普及啓発として、9か月児健診の際に保護者846人に対してチラシの配布を実施した。また、健康増進普及月間には電光標示板8か所で周知した。

(3) 事業所と連携した生活習慣病予防事業

市内事業所と連携しながら、従業員を対象に壮年期の課題を含めた健康づくり事業を実施した。

ア 事業所への健康通信の送付

- ・回数 4回
- ・事業所数 44社

イ 出張型健康づくりの実施

- ・回数 2回
- ・参加者延べ数 82人
- ・実施内容 講話（栃木市の現状・生活習慣病予防・栄養・禁煙）

2 健康診査事業

(1) 集団検診実施状況

- ・集団検診実施回数 104回
- ・集団検診実施場所 各保健センター、各公民館等

(2) 基本健診受診者数

(単位：人)

健診区分	特定健康診査(国保)	特定健康診査(社保等)	後期高齢者健康診査	ヤング健康診査	健康診査	合計
集団	6,665	1,649	2,540	1,151	44	12,049
個別	1,315	-	1,717	-	-	3,032
合計	7,980	1,649	4,257	1,151	44	15,081

(3) がん検診等事業

ア がん検診

区分	実施回数(回)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要精検(人)	精検不要(人)	判定不能(人)
胃がん	102	47,963	5,208	10.9	3,408	420	1,380	0
肺がん	104	47,963	10,697	22.3	6,872	331	3,494	0
大腸がん	104	47,963	10,109	21.1	9,658	451	-	0
前立腺がん	74	17,932	3,801	21.2	3,457	344	-	-
子宮がん(頸)	103	32,055	4,664	21.8	4,529	97	38	0
	(医療機関)		2,334		2,186	97	51	0
子宮がん(体)	(医療機関)	32,055	606	1.9	602	4	0	0
乳がん	103	30,509	5,085	16.8	2,347	225	2,513	0
	(医療機関)		49		37	11	1	0

イ 肝炎ウイルス検診

区分	受診者数(人)	要精検(人)
B型	1,181	6
C型	1,174	3

ウ 骨粗しょう症検診

対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	結果内訳(人)		
			正常範囲	要指導	要精検
13,361	1,400	10.5	645	554	201

エ 胃がんリスク検査 (ABC検査)

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要精検(人)			
			A群	B群	C群	D群	
14,831	625	4.2	484	64	65	12	

オ 歯周病検診・高齢者歯科口腔健診

区分	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要指導(人)	要精検(人)
歯周	20,817	1,199	5.8	47	143	1,009
高齢	1,518	214	14.1	131	27	56

カ 口腔がん検診

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	口腔がん所見(人)	他の所見(人)
81,794	929	1.14	888	3	38

3 けんしんパスポート、けんしんガイドブック送付事業

受診率向上のため、個人ごとに受診券や無料クーポン券などをまとめた「けんしんパスポート」を、世帯に一冊の集団検診日程や内容、予約方法などを記載した「けんしんガイドブック」とともに送付した。

- ・対象 20歳以上の全市民
- ・発送時期 5月下旬
- ・対象者数 134,707人 66,302世帯
- ・集団検診予約受付

予約方法	電話・窓口	ファックス	インターネット	合計
受付数(件)	10,319	672	5,010	16,001
割合(%)	64.5	4.2	31.3	

4 健康マイレージ事業

市民が自らの健康保持増進に関心を持ち、健(検)診の受診や健康づくりに積極的に取り組むためのインセンティブとして、健康マイレージ事業を実施した。

- ・対象 20歳以上の全市民
- ・実施方法 けんしんパスポートに、ポイントカード及び参加方法の説明を綴り、全対象者に配布

参加者全員にサポートカードを発行（サポート店：37件）

参加者は寄附または抽選を選択できる。

寄附を選択の場合は、市立小・中学校PTAへ1,000円の寄附となる。

抽選を選択の場合は、当選者に記念品を送付する。

・参加状況及び抽選結果

（単位：人）

区 分	参加者数	記念品当選者数	寄附	商品券当選者数
男 性	211	180	18	18
女 性	350	283	19	48
合 計	566	463	37	66

・当選者に対してマイレージ事業についてのアンケート送付

対 象 参加者566人

回 収 386件

回収率 68.2%

5 健康づくり事業

(1) 特定保健指導等事業

特定健診受診者に対し、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣の改善のため、運動・栄養等の保健指導を行った。

・会場 各保健センター

ア 特定保健指導

・実施状況

区 分	対象者（人）	利用者（人）	利用率（%）
積極的支援	217	54	24.9
動機付け支援	738	315	42.7
合計	955	369	38.6

イ 健診結果説明会

健診結果と生活習慣の改善方法を理解することを目的とし、説明会を行った。

・実施状況（個別指導）

回数（回）	参加数（人）
35	189

(2) 糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病重症化予防を目的とし、保健指導を行った。

ア 保健指導（外部委託）

・対象者 糖尿病腎症第2～4期の病期にある者（人工透析移行のリスクが高い者）

・実施状況 個別指導5回、集団指導（運動療法）1回

・プログラム終了者数 14人

イ 糖尿病予防教室～入門編～

・対象者 特定健診結果で糖尿病境界域段階の者

・会場 栃木保健福祉センター

・回数 5回1コース（年5コース）

・参加者延べ数 241人

ウ 糖尿病予防教室～応用編～

・対象者 令和2年度糖尿病予防教室～入門編～受講者

・会場 栃木保健福祉センター

・回数 1回

・参加者数 10人

(3) 肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業

肝炎ウイルス検査で陽性と判定された者のうち、同意がとれた者に対し、年に1回調査票の送付等を行い、医療機関の受診状況や診療状況の確認と、必要に応じて電話等による受診勧奨を行った。

年 度	対象者（人）	同意者（人）	継続フォロー者（人）	終了者（人）
令和3年度	9	3	25	6
令和2年度	7	2	28	5
令和元年度	3	2	30	4

(4) 健康教育

ア 中学校における歯と口の出前講座

中学生を対象に、歯と口の健康についての講話とブラッシング指導を行った。

・回数 2回

・参加者延べ数 80人

イ 出前講座

地域や団体に対し、健康教育を行った。

区 分	回数（回）	参加者延べ数（人）
ロコモ	10	170
口腔	4	98
健康増進計画	1	25
脳卒中	3	70
熱中症	6	59
合 計	24	422

(5) 健康相談・栄養相談・禁煙相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、保健師・管理栄養士が必要な指導及び助言を行った。

・相談者延べ数 46人

(6) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、管理栄養士が個別に慢性疾患の病態に応じた栄養指導を実施し、疾病の早期回復を図った。

・実施回数 16回

・相談者延べ数 16人

・指導内容(延べ件数)

(単位：件)

糖尿病	高血圧	脂質異常症	腎臓病	その他	計
8	7	2	4	6	27

(7) 脳卒中啓発プロジェクト

脳卒中予防に関するチラシを健診結果説明会、出前講座、糖尿病予防教室で配布した。

・配布数 532枚

(8) 熱中症対策

ア 普及啓発

・暑さ指数を活用した熱中症注意情報の掲示

・関係各課・機関におけるチラシ等の配布及びポスターの掲示

配布数 約6,400枚

ポスターの掲示：67か所

・広報とちぎやSNS、マスメディアの活用、市道電光標示板による普及啓発

イ 防災無線放送を活用した注意喚起（期間：5月10日（月）～10月27日（水））

・熱中症警戒アラート発表時 8回

・盛夏期における週末の注意喚起 7回

6 自殺予防対策事業

(1) こころの健康相談

こころの悩みの軽減及び自殺予防を図るため、カウンセラーによるうつ、ストレス、不眠等のこころの健康相談を実施した。

・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

・実施回数 24回

・相談人数 相談実数 42人、相談延べ数 63人

(2) こころの健康サポーター(ゲートキーパー)養成研修

こころの健康サポーター(ゲートキーパー)の役割を理解することで、こころの悩み・サインに気づき、自殺予防を図ることを目的に、研修会を実施した。

・実施回数 5回

・参加者延べ数 201人

(3) 自殺予防普及啓発キャンペーン(県共催)

自殺予防等の正しい知識の普及啓発と身近な相談機関の周知を図るため、自殺予防の啓発グッズと相談窓口カードを設置し、配布した。

・設置場所 図書館、スーパー、コンビニエンスストア、高齢者福祉センター、コロナワクチン接種会場

・配布数 6,550個

(4) メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」

パソコンや携帯電話を利用して、自分のこころの健康状態をチェックし、気軽に相談できる窓口を知ること、こころの疾患の早期発見・早期予防につなげることを目的に、こころの健康状態がわかるメンタルヘルスチェックシステムを市のホームページ

ジに設置した。

- ・アクセス数 21,723 件

(5) 自殺対策調整会議

栃木市いのち支える自殺対策計画を推進し、自殺を未然に防ぐため、調整会議を設置し、関係機関との連携強化を図った。

ア 参加者

保健医療・福祉・教育・労働等に関わる団体の代表者及び行政機関の担当職員等

イ 会議開催

開催日	参加数（人）	内容
第1回 10月29日	10	・栃木市いのち支える自殺対策計画について ・栃木市の自殺の現状について ・関係機関の状況等について ・若年者、女性に対する自殺対策についての意見交換
第2回 2月 書面開催		・栃木市の自殺の現状について(未遂者の現状) ・未遂者に対する支援体制について ・パンフレット「こころのほっと相談」について

7 地域保健対策推進事業

(1) 栃木市健康づくり推進会議

市民の生涯を通じた健康の実現を目指し、市民一人ひとりの主体的な健康づくり活動を関係機関、関係団体、行政等が協働して支援し、住民に密着した総合的な健康づくり対策事業を推進するため、会議を実施した。

ア 関係機関

保健医療、福祉、教育関係団体、公募による者等

イ 会議開催

月日	内容
第1回 8月 書面開催	・栃木市保健事業概要について ・新型コロナワクチン接種について ・子育て支援事業について
第2回 1月 書面開催	・栃木市健康増進計画について ・栃木市いのち支える自殺対策計画について

(2) 食生活改善事業

食生活改善推進員（100人）が、地域における食生活改善推進のため、個別訪問活動を中心に普及啓発を行った。また、会員相互の連携及び交流を図るため、支部活動を実施した。更に、地域において活動する食生活改善推進員を養成した。

ア 栃木市食生活改善推進員協議会活動

- ・実施状況

区分		内容	実施回数 (回)	会員 参加者数 (人)	一般 参加者数 (人)
事業	案内等 配布	生活習慣病予防教室関係	随時	30	-
		生涯骨太クッキング事業		45	-
		栃木県米消費拡大に関する事業		100	-
	講習会	生活習慣病予防教室関係	3	6	10
		生涯骨太クッキング事業	1	19	11
		栃木県米消費拡大に関する事業	1	4	13
市事業 へ協力	食生活改善推進員養成講習会補助	4	14	46	
会議	総会（書面開催）	1	66	-	
	理事会（書面開催含む）	4	42	-	

イ 栃木市食生活改善推進員協議会支部活動

・実施状況

内容	実施回数（回）	会員参加数（人）
支部会	11	145

ウ 栃木市食生活改善推進員養成講習会

- ・実施回数 6回
- ・実人数 13人
- ・延べ人数 71人

(3) 自主グループ活動支援

自主的な健康づくり活動の支援を行った。

- ・団体数 3団体
- ・実施回数 67回
- ・参加実数 95人

8 医療用ウィッグ購入費補助金交付事業

がん患者の治療と就労の両立、療養生活の質の向上に向け、がんの治療に伴う脱毛の悩みに対して支援するため、医療用ウィッグ購入費の補助を行った。

・交付実績

(単位：人)

区分	10代 未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3
女	-	-	1	1	13	18	14	7	1	55
合計	0	0	1	1	13	18	17	7	1	58

- ・交付額 1,622,200円

9 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

・訪問指導数 2,480人

・内訳（延べ人数）

（単位：人）

妊産婦	新生児	未熟児	乳幼児	小児慢性 特定疾患	精神 保健	生活 習慣病	他の 疾患	その他
1,066	76	21	1,161	4	34	31	1	86

※その他：小学生、中学生、高校生、その他学生、成人等に対するものを計上

子育て世代包括支援センター係

1 すこやか子育て相談室事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付（各総合支所分を含む）

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行い、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるため、窓口において母子健康手帳の交付を行った。母子手帳交付者及び転入の妊婦に対して、妊娠・出産についてのアンケート及び個別面接を実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行った。また、リスクアセスメントシートをもとに係内で要支援ケースカンファレンスを実施し、特に支援が必要な妊婦への支援方針を検討し安心して出産が迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況

（単位：人）

妊娠届出数	母子健康手帳交付数				
	妊娠届出	双胎	紛失等	海外からの転入	
762	804	762	4	32	6

転入の妊産婦 64人

・要支援ケースカンファレンス実施回数 49回

・要支援ケースカンファレンス検討者数 246人

(2) 低体重児の届出・未熟児訪問指導

体重が2,500グラム未満の児が出生した場合、保護者からの届出を受け、児の発達状況や家庭環境に応じた適切な養育指導を行うため、保健師や助産師が訪問を実施し、児の健全な発育・発達を促した。

・届出数 89件

・訪問件数(延べ) 21件

(3) 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して助言指導するために、保健師及び助産師等による訪問指導を行った。

・訪問指導状況

（単位：人）

	訪問実数	訪問延べ数
市内在住者	53	73
他市町からの里帰り	7	7

計	60	80
---	----	----

(4) 産前産後サポート支援

ア 若年妊産婦支援

10代の若年妊産婦は、出産や育児の情報不足、経済問題、支援の繋がりにくさなど複数の課題を抱えていることが多い。そのため、妊娠中から安全な出産、安心して子育てができるよう、電話面接、訪問、個別教室などの支援を実施した。

・支援件数：11件

イ 多胎妊産婦支援事業

身体的リスクが高く、産後における育児等の負担が大きい多胎妊産婦に対し、早い時期から必要な情報を提供するとともに、多胎育児経験者による家庭訪問や交流会を実施し、不安軽減と孤立予防を図った。

・ツインズプレパママ教室（多胎児出産準備教室）

実施数：8組

・makingツインズフレンズ（多胎児家庭交流会）

実施回数：1回

参加人数：妊婦2人、産婦5人、児10人（5組）

・ピア家庭訪問（多胎育児経験者家庭訪問）

訪問回数：妊婦4人、産婦5人

ウ 産前産後ヘルパー派遣事業

多胎妊産婦や日中支援者がいない妊産婦に対し、ヘルパーを派遣し家事や育児の負担軽減を図った。

・利用状況

単胎		双胎	
利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用者数 (人)	利用回数 (回)
23	296	3	22

(5) 産後ケア事業

産後も安心して子育てができる支援体制を確保するため、産後1年未満で支援を必要とする母子に対し、心身のケア、育児のサポート等を行う産後ケア事業を実施した。

・利用状況

短期入所型		通所型		居宅訪問型	
実人数 (人)	延べ利用回数 (回)	実人数 (人)	延べ利用回数 (回)	実人数 (人)	延べ利用回数 (回)
21	55	9	12	194	411

(6) 健康相談・支援

ア 生後2週間目全戸電話相談

出産を終え、退院後の不安を抱きやすい時期に、子育てや母親の心身等の不安に対して助言指導するために、保健師及び助産師による電話相談を行った。

- ・対象者数 818人
- ・実施数 817人
- ・実施率 99.9%

イ 子育てサポートプランの作成

複合的な課題を抱える家庭に対して、関係機関と支援の方法や支援体制を共通理解し、継続的に支援が行えるよう、プランを作成した。

- ・作成数 13件(幼児：4件 学童以上：9件)

(7) 関係機関との連携

ア すこやか子育てサポート会議

複合的な課題を抱える家庭に対して、関係機関と連携して支援していくために、情報交換及び支援方針等の検討を行った。

- ・開催数 53回
- ・検討世帯数(延べ) 53件

イ 妊産婦乳児虐待予防会議

妊娠届時や妊産婦訪問、生後2週間目全戸電話相談等で、支援が必要な妊産婦に対し、虐待の危険性の有無を判断し、今後の支援方針等の検討を行った。

- ・開催数 10回
- ・検討世帯数(延べ) 15回

ウ 子育て世代包括支援センター事業に係る関係機関連絡会議

子育て世代包括支援センター(すこやか子育て相談室)の利用実績や課題等を共有し、関係機関との連携体制の構築を図るため、意見交換を行った。

- ・開催数 2回
- ・関係機関参加者(延べ) 32人

2 妊産婦健康診査事業

(1) 妊産婦健康診査

妊産婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき妊婦健康診査14回と産婦健康診査2回の受診票を交付し、妊産婦の健康管理の向上を図った。(母子健康手帳交付時に受診票を配付、医療機関に委託して実施)

- ・妊婦健康診査受診状況 (単位：人)

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	
受診者数	759	743	754	752	747	741	737	
回数	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目	計
受診者数	763	730	676	725	569	409	222	9,327

- ・産婦健康診査受診状況 (単位：人)

回数	1回目 (産後2週間目)	2回目 (産後1か月目)	計
受診者数	712	812	1,524

(2) 妊産婦歯科健康診査

妊産婦を対象に口腔衛生の向上を図るため、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
826	317	38.4

3 母子保健事業

(1) 健康診査

ア 乳幼児健康診査

乳幼児の健康増進及び疾病の早期発見を目的に健康診査を実施し、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導を行い、育児不安の軽減を図った。

1歳6か月児及び3歳児健診においては、心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談に応じた。更に3歳児健診では眼科疾患早期発見のため、屈折検査を実施した。

未受診者については、電話や家庭訪問にて勧奨を行った。

・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

区分	実施回数(回)	対象数(人)	受診数(人)	受診率(%)	要観察(人)	治療中(人)	要治療(人)	要精検(人)
4か月児	28	797	788	98.9	98	40	2	24
9か月児	30	858	846	98.6	117	43	4	49
1歳6か月児	34	910	898	98.7	161	25	5	31
3歳児	42	1,161	1,147	98.8	216	35	41	231

イ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見とう歯の予防知識の普及を図ることを目的に、歯科健康診査及び歯科衛生士による歯科相談・歯科指導(ブラッシング指導を含む)を行った。また、保健師による育児相談を行った。

・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

実施回数(回)	対象数(人)	受診数(人)	受診率(%)	う歯のある児(人)
25	874	834	95.4	12 (1.4%)

ウ 乳幼児発達相談(二次健診)

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達の遅れが疑われた児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者へ育児支援を行った。

・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

開催回数(回)	受診児数(人)			結果内訳(人)		
	初診	継続	計	今回のみ指導	再診	要治療・要精検
18	68	28	96	61	22	13

エ 乳児先天性股関節脱臼検診

3~4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療

育指導を目的に検診を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	結果内訳 (人)		
			異常なし	要経過観察	要治療
831	766	92.2	749	15	2

オ 新生児聴覚検査

聴覚障がいを見出し、早期に医療及び療育につなげることで適切な言語の取得を促すとともに、成長発達への影響を最小限に抑えることを目的に検査を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)
821	817	99.5

(2) 健康教育

ア 両親（母親）教室

妊婦、夫及び妊婦の支援者に対して、お風呂の入れ方等の体験学習を行った。

- ・会場 栃木保健福祉センター
- ・実施数 30回
- ・参加者数

参加者 (組)	内訳 (人)		
	妊婦	夫	祖父母等
107	107	87	5

イ にこにこ教室

児の発達や関わり方に悩みを持つ保護者に対し、専門職による発達の見立てや個別相談を通して、育児支援を行った。

- ・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター
- ・実施回数 11回
- ・参加者延べ数 33人

ウ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、中学生を対象に、性（生）教育の授業協力を行った。

- ・授業協力

対象	実施回数 (回)	参加人数 (人)	
		児童・生徒	保護者
中学校	2	237	0

エ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の配布を行った。

- ・実施回数 30回（9か月児健康診査時）
- ・参加者延べ数 846組

オ 出前講座

地域住民や施設等からの要望に基づき、幼児期の食事や小児生活習慣病を予防するための健康講話を開催した。

- ・実施回数 2回
- ・参加者延べ数 95人

カ びよびよ交流会

出生数の少ない地域（都賀地域、西方地域、藤岡地域）に居住する乳児と保護者に対して交流会を開催し、親子の繋がりを築き、子育ての悩みを共有できるよう支援するとともに、地域の子育て情報を提供した。

- ・会 場 北部健康福祉センター、藤岡保健福祉センター
- ・実施回数 4回
- ・参加者延べ数 56組

(3) 健康相談

ア 子育て相談

育児に関する相談及び指導を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター
- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 59組

イ 母乳相談

母乳育児を希望する保護者に対し、助産師が個別相談を通して乳房トラブル等の対応方法について助言指導を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター
- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 52組

ウ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい高機能自閉症等の発達障がいの早期発見及び支援を行うことにより、幼児の健全育成を図るため、年中児を対象に、市内認定こども園、保育園及び保健福祉センター等において発達相談を行った。

- ・実施状況 (単位：人)

受診数	結 果 内 訳				
	異常なし	要観察	既医療・既療育	要精密検査	療育機関等紹介
1,179	911	78	61	26	103

エ のびのび相談

乳幼児健診及び相談・家庭訪問等において発達の問題や強い育児不安が見られた保護者に対して、心理職が個別相談に応じることで児の健全な発達を促し育児支援を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター
- ・実施回数 17回
- ・参加者延べ数 45人

オ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を保健師・看護師が訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育てで支援に関する情報提供等を行うとともに、3つの質問票（育児支援チェックリスト、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんへの気持ち質問票）を用いて、母子の心身の状況や養育環境の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービス提供につなげた。

また、県事業である「ようこそ赤ちゃん！支え愛（あい）事業」として、地域全体で子育てを応援する旨のメッセージカードや企業からの協賛品（紙おむつ、トートバック、乳児用麦茶、おしりふき券など）を贈呈した。

対象数（件）	実施数（件）	実施率（％）
830	823	99.2

(4) 個別支援

妊娠期から育児に関する様々な悩み等に対応するため、すこやか子育て相談室及び地区担当保健師等による電話、訪問による個別相談を実施した。また、困難ケースや情報共有が必要なケースに対して、ケース検討会議等で関係機関と連携を行い支援した。

ア 個別相談

（単位：人）

	妊婦	産婦	乳児	幼児	学童以上	その他	計
訪問	66	1,024	1,060	211	86	28	2,475
面接	1,106	307	2,119	3,501	241	14	7,288
電話	214	1,301	484	776	454	22	3,251
計	1,386	2,632	3,663	4,488	781	64	13,014

※R3より、すこやか相談室・保健師・栄養士等による相談対応数を合算した。

イ 会議

参加会議 54回（ケース検討会議、生活困窮者自立支援事業調整会議等）

(5) 歯科保健事業

ア フッ化物塗布事業（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

イ よい歯のコントロール（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

ウ フッ化物洗口

児童のう歯を予防し、歯の健康の保持増進を図るためフッ化物洗口を実施した。

・参加学校数 5校

・参加者数 687人

(6) 給付事業

ア 未熟児養育医療

出生時の体重が2,000g以下又は生活力が薄弱な未熟児に対し、指定医療機関に委託し、養育に必要な医療の給付を行った。（県からの権限移譲により平成25年度開始）

・給付認定者数 30件

1 新型コロナウイルス感染症対策事業

(1) 新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催

庁内各部の情報共有及び感染拡大防止の強化を図るため、対策本部を設置し、各種感染症対策を決定した。

- ・開催回数 25回

(2) 新型コロナウイルス感染症に関する栃木市非常事態宣言等の発出

市民一丸となって感染拡大防止を図るため、新型コロナウイルス感染症に関する本市独自の警戒度レベルを設定し、栃木市非常事態宣言等を発出して、感染症対策の徹底を強く要請した。なお、県の警戒度レベルの判断基準が見直され、市単位では把握できない病床のひっ迫状況をより重視して判断するとされたため、11月25日に、市独自の警戒度レベルを廃止した。

- ・令和3年 3月20日 感染嚴重注意報（～7月29日）
- ・7月30日 特定警戒警報（～8月7日）
- ・8月 8日 非常事態宣言（～9月30日）
- ・10月 1日 特定警戒警報（～10月14日）

(3) 新型コロナウイルス感染症対策に関するお知らせ（新聞折込）

本市の感染症対策に関するお知らせやお願い、相談・支援などの各種情報を新聞折込により随時お知らせした。

	発行日	内容
第7報	4月25日	65歳以上の方ワクチン接種のご案内（集団接種日程等）、栃木市のワクチン接種スケジュール 他
第8報	5月16日	65歳以上の方ワクチン接種のご案内（集団接種日程等）、ワクチン接種後の「副反応」 他
第9報	6月13日	65歳以上の方ワクチン接種のご案内（集団接種日程等）、基礎疾患のある方・高齢者施設等に従事している方の接種券の申込について 他
第10報	7月11日	ワクチン「接種券」の発送日と集団接種予約開始日、県や国の大規模接種・職域接種 他
第11報	9月5日	栃木市非常事態宣言の発令、市内感染症発生状況、ワクチン接種状況 他
第12報	12月26日	ワクチン追加接種（3回目接種）のご案内、予防接種済証・接種証明書・接種証明書アプリなどのご案内 他
第13報	1月16日	ワクチン3回目接種のご案内（集団接種日程等）、栃木県感染拡大時無料PCR検査のご案内 他
第14報	1月30日	ワクチン3回目接種のご案内（集団接種日程等） 他
第15報	2月27日	ワクチン3回目接種のご案内（集団接種日程等）、ワクチンの小児接種のご案内、ワクチン未接種者への差別禁止 他

(4) 新型コロナウイルス感染症対策に係る寄附の受入れ

感染症指定医療機関への支援や新型コロナウイルス感染症対策事業等に活用するため、寄附の受入れを行った。

ア 寄附金

件数（件）	金額（円）
5	3,142,789

イ 物品

不織布マスク、フェイスシールド等

(5) 新型コロナウイルス感染症対策基金

市が実施する新型コロナウイルス感染症対策に資する施策に要する経費の財源に充てることを目的とした基金を活用した。（単位：円）

令和2年度末現在高	積立金額	繰出金額	令和3年度末現在高
43,713,094	327,279,789	8,105,000	362,887,883

(6) PCR検査の実施

感染拡大を防止するため、地域で活動する民生委員等及びクラスターの発生リスクが高い障がい児者施設や学校等の職員及び利用者等に対してPCR検査を実施した。

ア 定期検査

- ・ 対 象 ①民生委員・児童委員
②高齢者ふれあい相談員
③障がい児者施設職員
④高齢者施設・介護事業所職員
- ・ 検査方式 原則、プール方式で実施し、陽性であった場合の二次検査は個別方式で実施する。
- ・ 回 数 3回まで
- ・ 実施状況

対象	回数	検査方式	被検査施設数（施設）	被検査人数（人）
民生委員 児童委員	1回	プール		207
高齢者ふれあい 相談員	1回	プール		114
障がい児者施設 職員	1回	プール	46	798
	2回	プール	46	871
	3回	プール	31	855
高齢者施設・ 介護事業所職員	1回	プール	158	2,467
	2回	プール	143	2,143
	3回	プール	143	2,421
		個別	3	22

イ 感染者発生時検査

- ・ 対 象 陽性者が確認された、下記施設の職員及び利用者等

- ①市立小学校
- ②市立中学校
- ③学童保育施設
- ④特定教育・保育施設
- ⑤障がい児者施設
- ⑥高齢者施設・介護事業所

・検査方式 個別方式

・実施状況

対象	被検査件数（件）	被検査人数（人）
市立小学校	21	760
市立中学校	8	528
学童保育施設	3	55
特定教育・保育施設	8	194
障がい児者施設	20	803
高齢者施設・介護事業所	7	262

(7) 自宅療養者等への生活物資（食料品・日用品）の提供

新型コロナウイルス感染症に感染し自宅療養中の者及び感染を疑う症状があり行動制限を受けている者で、買い物等に行くことができない者の生活支援のため、特定の生活物資のセットを提供した。

世帯数（世帯）	個数（セット）
365	1,005